

糸満市 米須自治会

集落
部門

「もの・こと・ひと」が融和したふるさとづくり (平成30年度認定)



米須集落は糸満市の南に位置し、さとうきびの他、果樹、野菜等の施設栽培、電照菊栽培等が行われる農業地域であり、エイサーや綱曳き等の地域の伝統芸能や行事が盛んな地域である。

米須ウシデークは、他地域では見られない婦人だけで行われる米須集落の代表的民俗芸能で、旧暦の8月15日に独特の衣装を身につけた女性達により、ウシデークの歌と踊りが披露される。昭和57年に米須ウシデーク保存会を発足し、区民の協力のもと今日まで守り継承し続け、平成21年には糸満市民俗文化財に指定された。

他にも米須大綱曳きや米須エイサー、獅子舞等の伝統芸能も盛んで、これらの伝統文化を次世代へと継承すべく、米須自治会を中心に青年会や若者頭会等と協力し合いながら活動を行っている。

その他の活動として、米須地域の自然・生活環境を保全し次世代へと継承することを目的に、米須自治会と米須区民との間で「米須地区環境協定」を締結しており、米須地区全体を建物の無い博物館「米須村まるごと博物館」として、地域の生活・文化・産業・自然等を、地域住民が訪れた人に案内・説明を行っている。

また、海岸清掃や花いっぱい運動等の地域の美化活動にも力を入れており、自治会が中心となって地域住民総出で行うことで地域活性化にも繋がっている。

このように、多面的機能の保全や伝統文化の継承等を通した「ふるさとづくり」に取り組んでいることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



300年以前から続く米須ウシデーク



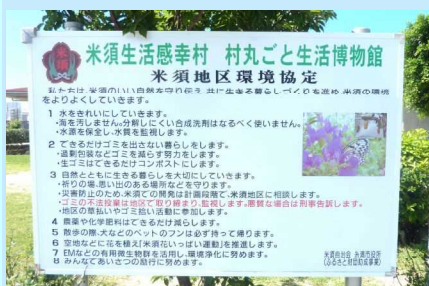
獅子加那志



米須大綱曳き



米須エイサー



米須村まるごと博物館



地域清掃活動